



旧遷喬尋常小学校 真庭市 明治40年 国指定重要文化財



旭東小学校附属幼稚園旧園舎「八角園舎」岡山市 明治41年 国指定重要文化財



旧吹屋小学校本館 高梁市 明治42年 岡山県指定重要文化財



金光教修徳殿 浅口市 大正15年



戦災で焼失した岡山県会議事堂 絵葉書 個人蔵

岡山県立矢掛高等学校明治記念館設立一〇〇周年記念

岡山県技師 江川三郎八と 江川式建築

岡山県の近代洋風建築の世界

このたび、やかげ郷土美術館では、岡山県の建築技師 江川三郎八の業績を紹介する展覧会を開催します。

江川三郎八は、1860年(江戸時代末期)会津藩士の家に生まれ、福島県技手として洋風建築の技法を学びました。1902(明治35)年から岡山県技手となり、旧遷喬尋常小学校(国重要文化財)や、岡山県会議事堂、1915(大正4)年には、当時の岡山県立矢掛中学校明治記念館を手がけるなど、学校、警察署、役所など100を超える施設の設計をしました。洋風建築の様式と日本の伝統の様式とを融合させた独自の建築様式は「江川式建築」と呼ばれます。

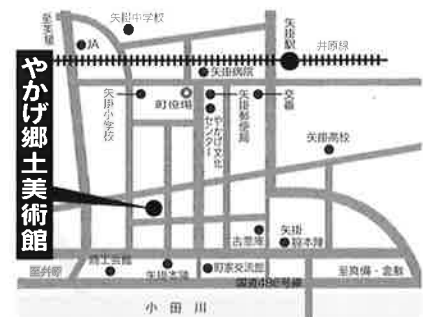
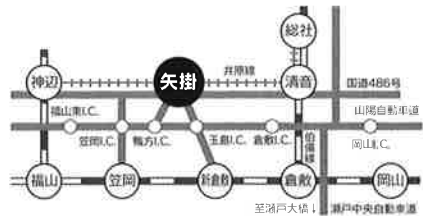
この展覧会では江川式建築の図面と写真、現物資料、模型など、約50点を展示し、明治後期から昭和初期の岡山県における近代洋風建築の歩みをたどります。

■内容

- 【模型】矢掛中学校明治記念館、総社警察署
- 【現物資料】興議館講堂の部材
- 【パネル】矢掛中学校明治記念館、総社警察署、興議館講堂、遷喬尋常小学校、旭東小学校附属幼稚園園舎、倉敷町役場、閑谷養、児島郡立商船学校、金光中学校記念講堂、肖像、家族の肖像、江川式建築の特徴、江川式建築古写真、現存江川式建築一覧、江川三郎八年譜など
- 【その他】江川三郎八と江川式建築に関する資料

■講演会

- 会 期 ●9月6日(日) 10:00~12:00
- 会 場 ●やかげ郷土美術館 2階研修室
- 演 題 ●岡山県技師 江川三郎八と江川式建築
一岡山県の近代洋風建築の世界一
- 講 師 ●森俊弘氏
真庭市教育委員会生涯学習課主幹・
江川三郎八研究会



- 交通案内
- 井原線矢掛駅から徒歩 7分
- 山陽新幹線新倉敷駅からタクシー 20分
- 山陽自動車道翔方インターから 15分
- 山陽自動車道玉島インターから 20分

■問い合わせ先
やかげ郷土美術館
 YAKAGE MUSEUM of ART
 〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛3118-1 TEL 0866-82-2110
 FAX 0866-82-2164 E-mail: museum@town.yakage.lg.jp
 ホームページ <http://www.town.yakage.lg.jp/museum/>